

平成 28 年度東京大学法学部推薦入試
グループ・ディスカッション課題

注意事項

- (1) 審査員の合図があったら、この表紙を開いて課題文を読んでください。課題文を読む時間は 5 分です。
- (2) 5 分後にまた審査員が合図をしますので、グループ・ディスカッションを開始してください。
- (3) ディスカッションの時間は 55 分です。指定された時刻までに議論を終結させてください。
- (4) 審査員は議論の進行に関与しません。決定のしかたや議論の進め方はみなさんで決めてください。
- (5) ディスカッション終了の時間までに、ディスカッションで到達した主要な結論をまとめてください。ただし、全員が同じ結論に到達する必要はありません。複数の結論を含んだまとめでも結構です。また、到達した結論について審査員にプレゼンテーションを行う必要はありません。
- (6) このグループ・ディスカッションはみなさんの論理的思考力、発想力、コミュニケーション能力、チームで作業する能力などを審査するためのものであり、思想・信条を評価の対象とするものではありません。

課題文

内戦が続く A 国から膨大な数の難民が国境を越え、周辺諸国に甚大な影響を及ぼしている。大学の授業でこの問題を取りあげたところ、以下のような主張が行われた。

- (1) 世界各国、特に経済的に豊かな先進諸国は、難民の受け入れに努めなければならない。現代世界では、自国の国民ではなくても、生命と財産を脅かされる人々を支援することは国際的な責任である。
- (2) 難民が生まれる原因となった内戦の終結を急がなければならない。この目的を達成するためには、国連安全保障理事会の決議に基づいた武力介入を行い、交戦勢力の戦闘を停止させる必要がある。
- (3) 難民キャンプの設立とその安全の確保が必要である。A 国と接する地域に難民を集めることによって、故国から遠く離れた土地への移住を強いることなく人々の暮らしを支えることができるだろう。

この(1)、(2)、(3)のそれぞれについて、どのような効果を期待でき、またどのような限界があるのか、その効果と限界を論じなさい。

この議論を踏まえて、A国の難民危機について望ましい対処方法を考えてください。考えられる対処方法は(1)、(2)、(3)に限る必要はありません。また、対処方法を一つに限定する必要はありませんが、複数の方法を提案する場合には、どれを優先すべきかを明らかにしてください。